

平成29年度 第1回金谷区地域協議会

次 第

日時：平成29年4月26日(水)午後6時～
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

- (1) 平成28年度地域活動支援事業の完了について (10分)

4 議題

- (1) 平成29年度地域活動支援事業審査・採択の手順について (10分)

- (2) 自主的審議に係る提案「金谷区小学校区（特に黒田小学校区）における
地域連携施設の設置」 (30分)

- (3) 自主的審議に係る提案「高田南部地区病児保育室の新規設置」について
(30分)

- (4) 金谷区の地域課題について (60分)

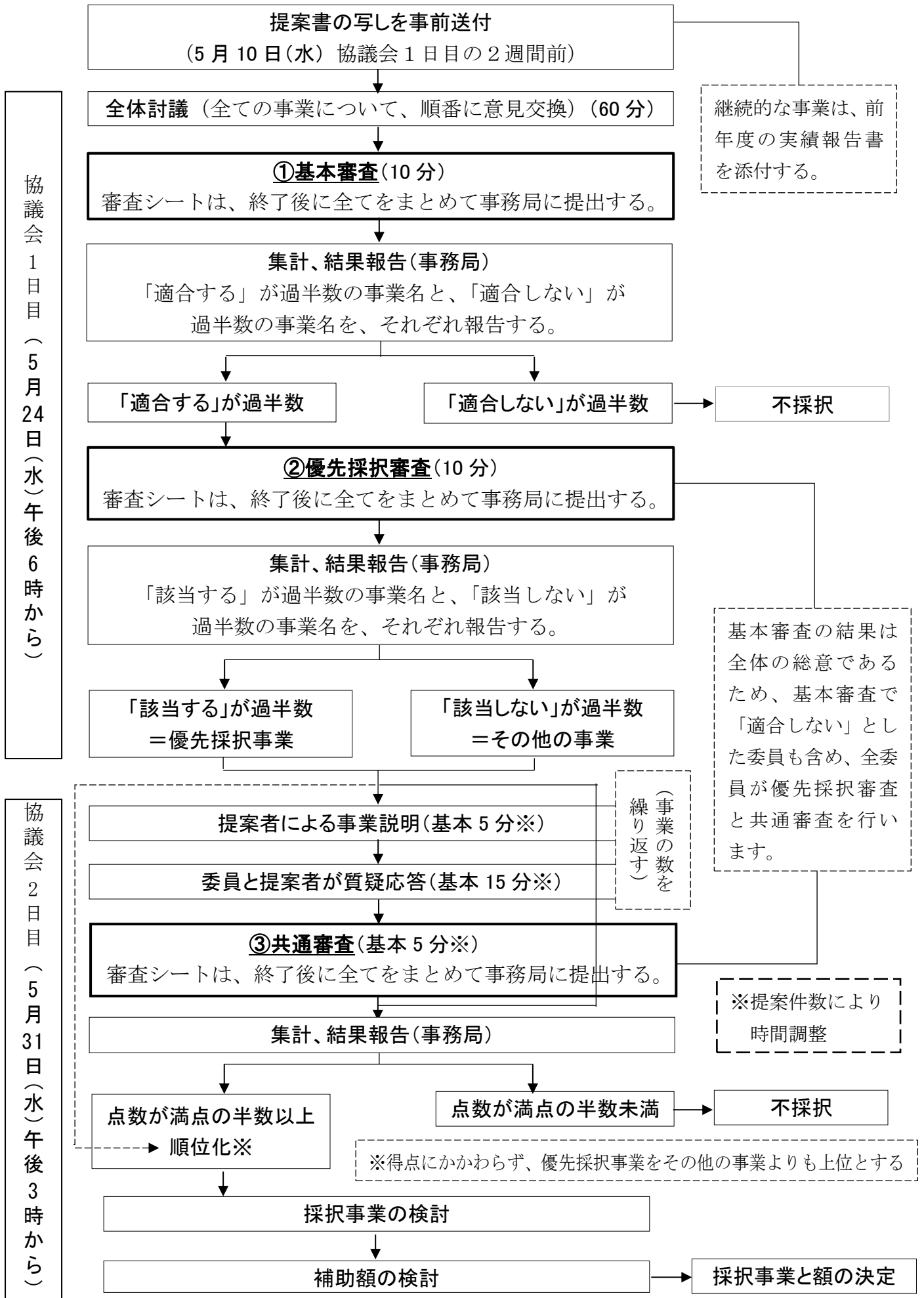
5 事務連絡

6 閉 会

平成28年度 地域活動支援事業実績報告【金谷区】


整理 No.	提案団体名	事業名
1	はだしの会	写真集「人と自然・中ノ俣の暮らし」製作事業
4	滝寺まちづくり協議会	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業
5	金谷地区振興協議会	金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業

平成 29 年度地域活動支援事業 審査・採択手順及び日程(案)



金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会
会長 高宮 宏一 様

提案者名 石野 伸二 

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

<p>審議する事項</p>	<p>金谷区小学校区（特に黒田小学校区）における 地域連携施設の設置</p>
<p>内容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由 ・課題の背景 ・課題の現状 ・今後の見通し ・地域、住民への影響 ・課題が生じている場所 ・期待する効果 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由 黒田小学校の現状は、徐々に児童数が増加し、基本6教室に対し平成29年度は、普通教室11部屋なり図工室等を教室に転用し平成28年度末完成に向けプレハブ教室の増設を図っていますが状況を踏まえ、校舎内では地域との連携したコミュニティ活動等の多目的スペースが全く取れない状況ですし、放課後児童クラブも体育館脇にプレハブにて運用されている状況ですので、将来を見据え児童と地域や地域内のふれあいをもてる施設の拡充をお願いしたい。 ・課題の背景 黒田小学校区内においては全くコミュニティの場（施設・広場）がない。（地域連携活動が取れない） ・今後の見通し 児童数は、今後大規模な宅地開発がない限り減少傾向に向かうと考えられるが、校舎内での空きスペースが出来る可能性は複式学級にならない限り不可能である。 ・期待する効果 放課後児童クラブと多面的スペースを併設した施設により地域年配者等とのふれあい等を通じ、小学校を中心とした学校・地域・家庭・各団体のスクラムを組む体制強化につながる。

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の14日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。



様式（委員用）

平成29年3月22日

金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会

会長 高宮 宏一 様

提案者名 石野 伸二



下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

審議する事項	高田南部地区病児保育室の新規設置
内容 ※下記を参考に可能な範囲で、ご記入ください。 ・提案理由 ・課題の背景 ・課題の現状 ・今後の見通し ・地域、住民への影響 ・課題が生じている場所 ・期待する効果 等	・提案理由 上越市では保育園、幼稚園、認定こども園に通園している乳幼児および小学校に就学している児童で、病気の回復期に至っていないため集団保育等が困難なとき、保育園や幼稚園等に代わって保育等を行う施設が栄町の「わたぼうし病児保育室」（塚田こども医院内併設）の一ヶ所のみである。 ・課題の背景 共稼ぎ世帯等においては、こどもの病気により簡単に休暇を取られる状況でないことや現病児保育室が遠方にあり利用するにも困難な状況であると共に「わたぼうし病児保育室」を利用する数が、全国4位という状況であり、妙高市の方々も多くされている状況である。（上越市の支援事業であるが医院長の配慮で受け入れられている） 子育て広場等を利用する保護者からの要望の声が非常に多く寄せられている。（育児休暇後のことを考えると） ・今後の見通し 国の方針である1億総活躍社会の実行並びに県の補助予算が3倍に増額されておる。

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の14日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。



高田南部まちづくりセンター

金谷区の地域課題について

テーマ	①具体的な取組	②期待される効果	③課題
1. 観光資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・後谷ダム、儀明川ダム、正善寺ダムの活用（ダムカードの利用、ダムの見学、案内マップの設置など） ・土産物の販売 ・土産物販売などの拠点整備（公民館の移転） ・外国人観光客向けの対策（看板の表記の修正など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムは広い年代の方や女性からも人気であり、幅広い来客が期待できる。 ・特色のある観光土産や物産があれば、また来てもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に取組を行う組織をどうするか。 ・販売できる土産物がない。 ・地産の農産物は、土産物として売るほどの量は作られていない。（生産拡大できない） ・PRや買い物をする場所がない。
2. 地域間の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・区内3校区の交流会（水泳大会、スキー大会、野球大会など、子どもだけでなく大人の交流も含む） ・公民館の移転 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの体力づくりにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとなり主導する人や組織がない。 ・行事への参加者が少ない。
3. 交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・山麓線歩道の冬期除雪 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者だけでなく、道を出入りする車の安全も確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に関係する組織と地域協議会との情報共有や、組織同士の情報共有がされていない。
4. 防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・中田原南交差点に定点カメラを設置 		
5. 子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の移転 		